

R3-16

生徒が主体となった防災意識の向上を図る取組

- 管内 オホーツク管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（防災教育）
- 教育課程 教科（福祉科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 福祉科の特徴を生かした、ハザードマップの作成
- 2 防災ポスターの作成及び地域への発信やコンクールへの応募

■ 取組の実際

ねらい

- ハザードマップや防災ポスターの作成により、生徒の防災意識の向上を図る。

内容

1 福祉科の特徴を生かした、ハザードマップの作成

多様で質の高い福祉サービスを提供できる人材の育成を図っていく上で、福祉の視点に立った防災意識の醸成は極めて重要である。

本取組は、外部機関との連携を図りながら、他者との関わりの中で生徒一人一人のコミュニケーションスキルの向上とともに、防災意識の向上を図っている。

- 福祉施設を軸としたハザードマップの作成
 - ・ 生徒の出身地や就労を希望している福祉施設を中心としたハザードマップの作成
 - ・ ハザードマップを活用し、生徒同士で事例検討を実施
 - ・ Google ドライブを活用し、地域の関係機関へ紹介
- 置戸町と連携した防災学習
 - ・ 作成したハザードマップを基に、町の関係機関と共同で防災学習を実施
 - ・ 避難所における新型コロナウイルス感染症に関する対策の検討



【作成したマップ】



【事例検討の様子】

2 防災ポスターの作成及び地域への発信やコンクールへの応募

本取組は、同じ進路希望の生徒が学び合い、切磋琢磨していく過程を通じて、他者を認め、尊重する態度の育成とともに、防災意識の向上を図っている。

- ・ 生徒による防災ポスターの作成
- ・ Zoom を活用し、オープンスクール等で中学生やその保護者へ紹介
- ・ Google ドライブを活用し、地域の関係機関へ紹介
- ・ 防災ポスターコンクールへの応募（主催：内閣府・防災推進協議会）



【ポスターの作成】

成果と課題

- 生徒が主体的に深く考えることにより、防災意識の向上を図ることができた。
- 学校全体として、系統的な取組の検討が必要である。